

(様式第2号)

## SDGs達成に向けた宣言書(要件1)

宣 言 日 令和2年12月22日  
住 所 さいたま市大宮区下町1-42-2  
県内企業等の名称 小林クリエイト株式会社北関東営業部  
代 表 者 氏 名 部長 加茂 秀幸

小林クリエイト株式会社北関東営業部 はSDGsの内容を理解し、SDGs達成に向けた  
取組方針を下記のとおり宣言します。

### 記

#### SDGs達成に向けた県内企業等の取組方針

積極的に「SDGs」に貢献する取り組みを行い、社会から必要とされる企業であり続ける。

三側面	SDGs達成に向けた重点的な取組	指 標
環境	エコカーの導入と運転日報を活用したエコ運転活動で営業車の燃料使用量を抑制する。(2020年 1台当たりの年間の燃料使用量 50.1%)	<2030年に向けた指標> 営業車 1台当たりの燃料使用量 2020年比10%ダウン <取組開始3年後に向けた指標> 営業車 1台当たりの燃料使用量 2020年比3%ダウン
社会	フレックスタイムとリモートワークを活用した業務の効率化を進め、残業を抑制することで従業員それぞれに合ったワークライフバランスを実現する。 (2020年総労働時間23,529時間に対する残業時間1,910時間の割合は8.2%)	<2030年に向けた指標> 総労働時間に対する残業時間の割合 2020年比4ポイント削減 <取組開始3年後に向けた指標> 総労働時間に対する残業時間の割合 2020年比2ポイント削減
経済	再生紙やリサイクルトナーなどの環境適合商品を積極的に販売することで、広くSDGsに対する企業の意識向上に貢献する。 (2020年 販売社数 6社)	<2030年に向けた指標> 環境適合商品販売社数 2020年比6社増加、12社(200%) <取組開始3年後に向けた指標> 環境適合商品販売社数 2020年比2社増加、8社(133%)

#### 【記載留意点】

- ・(様式第3号)SDGs達成に向けた県内企業等の基本的取組事項(要件2)に記載いただいた取組内容を踏まえ、「環境」「社会」「経済」の三側面の全てについて、「SDGs達成に向けた重点的な取組」を記載してください。
- ・指標は原則として数値目標を記載してください。
- ・SDGsのターゲット年である2030年に向けた指標をベースにして、取組開始から3年後に向けた指標を記載してください。